

東御市
社協報

ほほえみ

社協報「ほほえみ」の名称は明るく夢をもって笑顔で暮らせる地域の福祉づくりを進めていくことから名づけられました。

2号

平成17年 1月17日発行

編集発行 社会福祉法人
東御市社会福祉協議会
長野県東御市鞍掛197
(総合福祉センター内)
TEL (0268) 62-4455
FAX (0268) 64-5695

▶体操して元気いっぱい!
(北御牧高齢者センター)



▶障害者希望の旅で
乗馬体験
(望月町馬事公苑)



・支えあい
・助け合い
・励まし合う
地域づくりを
目指して



▲おらは祭りでしめ縄づくり
(田沢公民館)



▲料理講習会 (大川公民館)

▲「蜜ロウ」によるローソク
づくり (田沢公民館)



▲楽しく歌ったり食べたり (加沢公民館)

○福祉運営委員ってな～に!

○おらはの地域福祉づくり事業紹介

○障害者の日の集い

○ボランティアだより「ふれあい」

○月間スナップ

この社協報は共同募金配分金によって印刷したものです



あけましておめでとうございます

新年のごあいさつ

東御市社会福祉協議会
会長 寺田 泰明

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年10月合併により東御市社会福祉協議会がスタートいたしました。合併により福祉が一層前進するよう役職員一同新たな気持ちで努力をしてまいります。

介護保険事業につきましては、今制度の見直しが行われており介護予防重視への転換が図られようとしています。財政優先の弱者切捨てにならないことを望むものであります。今後とも経営の安定を図るとともに、よりよいサービスを提供してまいりたいと思います。

社会福祉協議会の使命であります地域福祉の推進につきましては、おらほの地域福祉事業や生き生きサロン等支部活動に重点をおき、支え合い、助け合い、励まし合う地域づくりを目指して活動をしてまいりますので、ご理解のうえ変わらぬご協力をお願いし、新年のごあいさついたします。



Q 2 福祉運営委員の構成はどのようになっていますか。

A 委員の構成は、男性女性に関らず地域のふれあい、支え合いの活動にご協力いただける方ならどなたでもかまいません。また、地域に詳しい民生児童委員や各種団体の皆さんも含まれています。

Q 3 福祉運営委員の任期は何年ですか。

A 任期は2年で半数交代が理想です。

福祉運営委員でな～に！

社会福祉協議会では、地域の福祉問題を把握し、問題の改善、解決にあたるために各区に福祉運営委員会の設置をお願いしています。今回はその福祉運営委員の役割や活動についてお話しします。

Q 1 福祉運営委員のおもな役割はなんですか。

A 簡単にお話ししますと4つの役割があげられます。

①福祉問題への対応

地域の中の福祉問題を早期に発見し、問題が小さいうちに地域で対応したり、専門機関へつなぐパイプ役です。

②地域住民への情報提供

必要な人に、必要な福祉の情報を提供します。

③緊急事態への対応

自分一人や家族だけでは対応できない緊急事態に対して地域の連携を図ります。

④助け合い・ふれあいの諸活動

ふれあい・生き生きサロン活動、三世代交流活動、福祉マップ作りなど各地域にあった活動を取り組みます。



おらほの地域福祉づくり事業紹介

社協が主唱する「おらほの地域福祉づくり事業」は、2年目を迎え、新張区と田沢区が指定されています。ここではそれぞれの活動を紹介します。

新 張 区

今年は、好天続きで例年になくソバも豊作で、区長さんはじめ区民の皆さんが“福祉ソバづくり”と銘打って、日頃の“腕自慢”をご披露しました。



“ソバづくり”に携わるお母さんの腕自慢も、後ろで手ほどきしているお年よりのアドバイスで、思わず「ヤッター」といい、側にいた子どももニッコリでした。

田 沢 区

12月5日、12月とは思えない暖かな日曜日。田沢区では「おらほ祭り」が盛大に開催されました。福祉づくり委員会の「老いも若きもおいでな」の呼びかけに、子どもたちからお年寄りまでたくさんの人たちが集いました。それぞれが自分の立場で参加し、展示された作品を鑑賞し、しめ縄づくり、また各種団体が出す屋台で舌鼓をうち、話しに花を咲かせ、そこには楽しいふれあいが生まれました。

お祭り中心として活躍した各役員団体の人たちのパワーは素晴らしいもので、これが次なる福祉活動に活かされてゆくことでしょう。



▲お好み焼きおとうさんパワー



▲会場いっぱい展示された作品

東御市で「障害者の集い」 S Oをみんなで盛り上げよう



あいさつをする寺田・社会福祉協議会会長

この日は、スペシャルオリンピックス(S O)日本・長野・上田プログラムの宮下光子事務局長が「S Oをみんなで盛り上げよう」と題して講演。S Oの歴史や理念、活動を紹介するビデオなどを放映した後、宮下さんからは「S Oの大会を通して、社会に積極的に参加してほしい」との話がありました。

また市の土屋共和・福祉援護係長が「東御市の取り組みについて」話し、日本音楽療法学会認定音楽療法士の北畑道子さんが、「歌って、笑って、感じて、元気」と題し、音楽療法について講演しました。

思いやりの心を結集しふれあいの輪を広げよう—などをスローガンに掲げ、東御市の福祉団体などで作る実行委員会は12月8日に、「第1回障害者の日の集い・福祉団体交流会」を市中央公民館で開き、約200人が参加しました。これは12月3日～9日の「障害者週間」に合わせ開催したものです。

障害者による作品展、ふれあいレクリエーションの開催、更正・自立・スポーツなど功績への表彰、障害者福祉について啓発・宣伝することにより、障害者福祉の問題について、理解を深めることをめざしています。



会場には約200人の人が集いました

心のこもった“おせち料理”

社会福祉協議会では恒例となった“おせち料理”を、今年も作り各戸に配布しました。

この“おせち料理”は、子どもさんが無い高齢者に贈るもので、民生委員の皆さんがまごころ込めて作りました。

「おいしいおせちをありがとう」との声も聞かれました。



月間スナップ



〈滋野宅老所で大忘年会〉

12月3日、日ごろ滋野宅老所を利用している皆さんと、ボランティアと一緒に（16人）に、一足早い忘年会を「湯楽里館」で実施しました。

ゆっくり温泉に入り、おしゃべりしたり、生活援助員・榎田さんの踊りを見て、お昼は好きなものを食べた後しっかりお昼寝をして、1日くつろいできました。

皆さんしっかりリフレッシュして、満足顔で帰途につきました。

〈祢津宅老所にかわいい訪問〉

11月24日に、祢津保育園児（3・4歳児9人）が祢津宅老所に来てくれました。

宅老所の皆さんは、かわいい孫の来所に大喜び。

一緒に楽器を使って歌を歌ったりして、楽しいひと時を過ごしました。



〈やすらぎの家 みまき〉

障害者等社会参加促進施設「やすらぎの家みまき」では総勢9人で仲よく作業しています。



〈ミニデイ交流会の開催〉

11月26日、総合福祉センターにおいて生きがいデイサービス「くらかけ」と「みまき」を利用されている皆さんの交流会を行いました。都はるみのヒット曲「好きになった人」をバックにお揃いの衣装で踊ったり手遊びなどで交流を行いました。

〈介護者交流会を開催〉

12月18日、湯楽里館において日ごろ在宅で介護している人を対象に介護者交流会を開催しました。作業療法士の青森めぐみさんに腰痛・肩こりの予防体操や介護中のリフレッシュの仕方など話してもらいました。昼食には、神谷まつ子さんのマジックやサンタクロースの突然の訪問に会場は笑いが絶えませんでした。

〈日赤奉仕団の研修視察〉

12月3日に日赤奉仕団役員研修で、日本赤十字社本社へ視察にやって来られました。いつもなら救援物資でいっぱいの地下の倉庫は災害が多かったため、在庫が少ないとの話でした。そのあと、国会議事堂も見学してきました。

ボランティア
だより
2号

ふれあい

新しいサロンが立ち上がりました。お互いを支え合い、「できることは自分でやる」ことを実践しているグループを紹介します。

つどいの場 こんにちはボランティアたんぽぽです

◎住み慣れた乙女平で、いつまでもその人らしく暮らし続ける。

◎地域での支えあいを大切にしたい。

そんな願いから私たちたんぽぽの活動は始まりました。今回は私たちの活動内容を皆様にご紹介します。

いつ・どこで？

毎週木曜日・午前10時から
乙女平公民館にて
乙女平に住む0歳からどなたでも

こんなことをしています

頭や体を使った体操や、より良い
コミュニケーション作りのための
学習活動。
絵手紙・料理教室・写真講座
ヨガ教室・リース作りなどなど。

たんぽぽ日記①

ベテラン主婦から教えて
もらった信州の食文化、
おやきとおこわ。子供と
一緒に楽しく参加し、お
腹いっぱい食べました。



クリスマス会にて、グループ対抗の
ゲームに大人も子供も楽しみました。

たんぽぽ日記②

やってみたくてもチャンスがなかった
絵手紙。得意な会員にやさしく教えて
もらい、今みんなはまっています。

たんぽぽ日記③

ちびっ子会員の日々成長する姿にパワ
ーをもらっています。母は、子育てか
ら手が離れリフレッシュしています。

たんぽぽは、何かを提供するボランティアではなくお互いを支えあうためのコミュニケーション作りを
日々行っています。このつながりを、もっともっと大きくしていきたいな。それがたんぽぽの願いです。

男性のための 料理講習会

12月7日（火）中央公民館において、気
軽に台所に立ち、料理と仲間づくりを目的
に“男性のための料理講習会”が開催され
ました。

前回参加あるいは、初めて参加した方々 13
名が集まり、食生活改善推進協議会の講師
から説明を聞きながらメモを取り、手際よ
く料理づくりに励み、出来栄えに満足しま
した。料理づくりの大変さを実感し、その
楽しさ・面白さ・喜びなどを体験して「今
後も定期的で開催して欲しい」という声が
多くの方から上がりました。



よし、今夜はこの料理で母ちゃんをよろこばすぞ！

SOをアートで応援 アートフラッグ

スペシャルオリンピックスの選手に思いを募らせ、心から応援する

田中小学校3年3組がアートフラッグを製作しました。今年2年に長野で開催されるスペシャルオリンピックス冬季世界大会の会場に飾られ、参加選手を応援する旗です、始めに説明を聞き、フラッグ作りに取り掛かりました。床にシートを敷き、シートを固定し、人型を取り、次にアクリル絵具で手形や模様などを、スポンジや野菜を切った形などの道具を使って自由に描いて行きました。初めはシートに何を描いたらよいのか戸惑っている子もいましたが、何人かが描き始めると、それを倣うように他の子どもとんと手形を押ししたり、スポンジで虹を描いたり、次はどんな色にするかを相談したりして、楽しそうに描いていきました。一つのフラッグを協力して作る楽しさや大切さを体験できました。(蓬田 記)

東御市では北御牧児童館・さんらいずホールタイムケアの仲間とボランティア・和児童館・田中小学校3年3組で製作したものを県社協へ送りました。

※アート・フラッグ展示期間 2月19日(土)～3月5日(土)

会 場 長野駅周辺・競技会場周辺



みんなががんばってつくった、はた。その気持ちがとどけばいいと思いました。



やさいとかカップを使ってかたをおしました。手がたもおしました。スペシャルオリンピックスをアートフラッグでおうえんしています。ガンバレ!

滋野小学校出前講座 「年を取るとどうなるの」

11月19日(金)6年生と父兄60名が2人1組になり、ボランティア8名、職員4名の指導により高齢者擬似体験・ガイドヘルプ体験を行い、体の不自由さを知り、お年寄りの気持を学びました。



◀お年寄り毎日こんなに大変だったんだ…知らなかった

お年寄りの大変さがわかった。助けてあげたい



祢津小学校出前講座 「車いす・ガイドヘルプ等体験」

11月22日(月)ボランティア23名、職員4名の指導のもと5年生、6年生が車いす・ガイドヘルプ・高齢者擬似・部分・手話・点字にチャレンジし、自分との違いを体験しました。



声をかけて安心!



よく見えないよ



手話で会話したい



大変だ、手助けしたい

中村通明さん、ボランティア功労者に対する厚生労働大臣感謝状を贈られる

過去10年以上ボランティア活動を、率先し行い引き続き現在も活動を行っている者であり、その活動が顕著なものに対して贈られるものです。

中村さんは「今さらと思ったが感激した。命果てるまで社会奉仕したい、それは健康のため、自分のためであるから」とお話しされていました。

ボランティア募集

社協ボランティアセンターでは、ボランティアをしたい、興味がある、ボランティアグループを立ち上げたい、求める人の相談を受けています。

ボランティア募集状況

施設(ともがき、ちいさがたの家)	声掛け、行事等のお手伝い・趣味活動等
スペシャルオリンピックス	ホームステイ、ホストファミリー等



(11月・12月中の受付分です)

ロイヤルグリーンクラブ

チャリティゴルフ大会参加者一同様 417,000円

匿名様……………ポータブルトイレ

匿名様……………日用品

土屋 和子 様……………30,000円

匿名様 (本海野)……………100,000円

竹内 義和 様……………ハガキ

東御キリスト教会様

チャリティバザー収益金……………68,219円

田中のびのびっこひろば様

バザー売上金……………5,000円

別府 清信 様 (西宮)……………51,938円

障害者の日の集い実行委員会様……………17,000円

長野県理容生活衛生同業組合上小支部様

……………イエローカード、雑巾、8,600円

(株)コトヒラ工業・従業員一同様……………200,000円

匿名様……………500,000円

武舎 一男 様……………もち米

(株)北信ヤクルト販売様……………30,000円



(株)コトヒラ工業様よりご寄付
いただきました



理容組合様よりご寄付いただきました

ウエスのご寄付ありがとうございます

(11月・12月中の受付分です)

柳 沢 よし子 様 (東町)

おそうじ本舗上田中央店 様

篠 原 禮 子 様 (西宮)

小山田 糸 子 様 (本海野)



新潟県中越地震災害義援金のお礼と現地報告

新潟中越地震報告

(現地に触れて、十日町市、小千谷市、川口町)

11月12日、ボランティア派遣の現状と今後の取組み検討のため、災害地を訪問しました。

避難勧告が解除の所は落ち着き、他の地域は家屋・道路の破損が大きく、未だに、河川敷き・福祉センターでの避難所生活が続いています。全国各地から駆けつけたボランティアは、厳寒の中、避難所での支援・家屋、道路の撤去作業・家屋の引っ越しの手伝いなどのボランティア活動が行われていました。

市民のみなさんには、義援金・救援物資・ボランティア活動等にご協力いただきありがとうございました。



東御市社会福祉協議会及び北御牧支所では10月25日より多くの皆さんにご協力いただきました。下記のとおり報告するとともに、紙面をもってお礼を申し上げます。

なお、引き続き平成17年10月24日(月)まで災害義援金を受け付けておりますので最寄りの金融機関又は、社会福祉協議会までお問い合わせ下さい。

平成16年12月23日現在 1,017,559円

【個人】100名以上の方にご協力いただきました。

(寄付者名については紙面の都合上、省略させていただきます。)

【団体】聖区様、農村女性ネットワークとうぶ様、東御市身体障害者福祉協会様、(社)日本禁煙友愛会 東御支部様、道の駅 雷電くるみの里様、さんらいずホール様、東御市老人クラブ連合会女性部様、東御市民生児童委員協議会様、田沢区様、To-Me X'mas コンサート一同様、㈱アヅマ様。

編集後記

昨年は、いろんな事がありましたが、なかでも台風と地震によって人命や家屋を失うという自然災害の恐ろしさを目の当たりに痛感した年でした。被災者には心よりお見舞い申し上げます。

新生東御市誕生初の新年を迎えました。今年こそ災害もなく、安心・安全の地域福祉づくりをつうじて、みんな「しあわせ」でありますよう祈っています。

山浦 忠幸

記事についての

●申し込み・問い合わせ先
東御市社会福祉協議会

TEL62-4455 FAX64-5695